



2017年9月1日 栗山地区契約玉葱

## 北海道産玉葱 順調に収穫進む

昨年のマルト便9月号では北海道へ台風が直撃した旨のご報告をさせて頂きました。9月月初の時点では北海道産玉葱への台風被害状況が不明な状態で、それまでの府県産も状況が悪かったこともあり、本当に今後どうなるのでしょうかという想いでこのマルト便を書いていた記憶があります。結果としては馬鈴薯やニンジンといった多くの作物には甚大な被害がありましたが、幸いにも玉葱はそれまでの天候が良く、生育が順調であったこともあり、台風被害に合ったとはいえ豊作傾向の年回りとなりました。お陰様で首の皮が一枚つながったというのが本心でした。

29年産の北海道玉葱はこれまでお伝えをしてきた通り、順調に収穫を迎えているように思います。統計としてはまだ明らかではありませんが、凡そ昨年並みの豊作とはいかないまでもまず問題が無いと思われます。

弊社でも今年は8月中旬から徐々にではありますが、北海道産玉葱の入荷がスタートしております。現在はまだ小玉傾向でL小、L大が中心となっています。9月中旬頃からの産地切り替えを目指して現在動いております。

2017年9月1日、2日と弊社契約産地の北海道栗山地区の生産者様を訪問し、今期商品確認、意見交換を行って参りました。訪問させて頂いた日は晴天となりました。この時期の玉葱生産者様は本当に忙しい日が続きます。晴れの日とはとにかく収穫を進めないといけません。雨が降ると畑に入れず収穫がスケジュール通りにいかなくなります。結果品質の劣化や病気が入ることもあり、天気予報とのにらめっこが続く時期でもあります。そんな貴重な晴れ間に大変恐縮なのですがお時間を頂きました。

訪問時はオホーツク222の収穫真っ最中でした。栗山地区では圃場により同じ品種でも収穫量にバラツキがあるように感じました。傾向としてはそれほど大きいという感じはありませんでした。各生産者様平年程度の平均的な収穫量に落ち着きそうです。8月の天候があまり良くなかった為、最後のもうひと太りがなかったと思われます。この後に収穫予定となる北もみじ2000も概ね平年並みの収穫量が見込まれます。品質面では一部肌腐れが心配なところもありますが、概ね良好と思われます。本格入荷が楽しみです。

## 『第36期 一致団結』

株式会社マルト商事  
代表取締役 戸澤 周一

2017年9月1日よりマルト商事は36期目に入りました。弊社が無事に新しい期を迎えることができましたことは、マルト商事に関係するすべての皆さまの御陰でございます。この場をお借りして御礼申し上げます。

35期は「原点回帰」をテーマに掲げてスタート致しました。33期、34期と主力である玉葱原料手当てがうまくいかず、多くのお客様にご迷惑、ご心配をおかけしておりました。そこで35期は「良い原料を仕入、良い加工を行い、高い付加価値を創造し、お客様へ良い商品をお届けする」ということを具体化して参りました。特に玉葱原料の確保においては、6月から8月にかけての府県産時期の玉葱産地分散化を徹底して行って参りました。多くのお客様、産地様、生産者様にご協力を頂き、ある程度の安定した物量確保が可能となって参りました。今後は更にパートナーになって頂ける産地様を拡大するとともに、皆がHAPPYになる品質への取組も推進していきたいと思っております。

生産設備についても、これまで推進してきた剥き玉葱の自動化ラインとともに、2017年2月に手剥きラインも増設致しました。生産可能数量こそ日量2,000kg程度とそれほど多くはないのですが、一層受入れ原料に幅を持たせることが可能になりました。

36期は「一致団結」をテーマに、マルト商事全員で、関わる皆様に喜んでもらえる取組を進めて行きたいと考えています。私が代表就任以来テーマとしています「関わる全ての人をHAPPYに」という理念を皆が深く共有し、それぞれの立ち位置から業務見直しを行って参ります。

設備面でも、弊社生産品目の品質向上に向けて必要な投資を実施していく予定です。仕組み・人・設備、全てを「関わる全ての人をHAPPYに」というぶれない軸をもってアップグレードさせる期として参ります。

今期も皆様のお役に立てますよう、弊社従業員一同一体となって取り組んで参ります。今期も変わらぬご指導、ご鞭撻の程宜しくお願い致します。

2017年9月吉日

## 埼玉県主催 加工業務用セミナー

2017年8月22日に埼玉県主催の児玉地域加工業務用野菜推進セミナーが開催されました。近年需要の伸びている加工業務用向け野菜の生産拡大を目的として、農協様、生産者様を対象に開催されたセミナーです。

当セミナーにおいて弊社営業課長の中村が「加工用野菜の現状と今後について」というテーマで1時間に渡り、講演をさせて頂きました。

多くのご来場者様を前にして緊張した様子でしたが、弊社業務の実例を交えながら「想い」をお伝えできたように思います。皆様熱心に聞いて頂けました。

弊社におきましては、今後もこのような機会には積極的に参加させて頂き、パートナーとなる、玉葱を中心とした加工業務用向け野菜の生産者様とのネットワーク作りを推進していきたいと考えています。



※本記事に関するご要望・改善等ございましたらお気軽にご連絡ください。  
お問い合わせはコチラ⇒TEL049-258-5315